



江別市立大麻東中学校 学校だより

稜線

令和2(2020)年度 第5号
令和2年8月7日発行 校長 三浦 崇史

◆令和2年度の重点目標◆
自律する力を育てる
～優しさあふれる大麻東中学校～

<http://www.ebetsu-city.ed.jp/ohigasi-t/>

「あたりまえ」に感謝しましょう！

校長 三浦 崇史

学校が再開して2ヵ月と1週間が経ち、明日からようやく夏休みを迎えます。短くなってしまった夏休みですが、感染症に十分気をつけながらも心身の休養や一日一善など有意義に過ごしてほしいと思います。

さて、学校はと言いますと、まだ制限はあるものの、ようやく「あたりまえ」の生活が戻りつつあります。子どもたちも先生方もいろいろな意味でたくさん我慢し、苦難や悲しみを乗り越え本当によく頑張ってくれた68日間でした。反面、そうになったらそうだったで、生徒の中には、あの苦しく長かった臨時休校期間、「あたりまえ」のことが「あたりまえ」にできなかった日々の辛さを少し忘れかけてきているのかな、と思われるような報告も聞こえてくるようになってきました。

朝起きたら「おはようございます」、夜寝るときには「おやすみなさい」と言う。食べる時は「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」と言う。何かしてもらったら「ありがとう」と言う。ゴミは散らかさない（不法投棄もしない）、落ちていたら拾う。物を大切に使う。他人を傷つけない。困っている人がいたら助けてあげる…そんな「あたりまえ」のことの数々。今、子どもの世界でも大人の世界でも、そんな「あたりまえ」のことができない人が多くなってきていると言われています。

あたりまえ

井村 和清

あたりまえ
こんな素晴らしいことを、
みんなはなぜよこばないのでしょうか。
あたりまえであることを。
手が二本あって、足が二本ある。
行きたいところへ自分で歩いて行ける。
手を伸ばせばなんでもとれる。
音が聞こえて声が出る。
こんなしあわせはあるのでしょうか。
しかし、だれもそれをよこばない。
あたりまえだ、と笑ってすます。
食事が食べられる。
夜になるとちゃんと眠れ、
そして、また、朝がくる。
空気を胸いっぱいにする。
笑える、泣ける、叫ぶこともできる。
走り回れる、
みんなあたりまえのこと。
こんな素晴らしいことを、
みんなは決してよこばない。
そのありがたさを知っているのは、
それをなくした人たちだけ。
なぜでしょう。あたりまえ。

『飛鳥へそしてまだ見ぬ子へ』より

*これは、若き医師・井村和清さんがガンに冒され自分の限られた命を知った時に、家族に残した愛の手記の中の一部です。病との壮絶な闘いの中で家族への切実な想いを綴っています。私が大学生の頃映画化され、観て感動の涙を流したことを覚えています。

私たちが今までそれが「あたりまえ」と思っていた学校生活の多くのことが、新型コロナウイルス感染症の影響で「あたりまえ」ではなくなりました。普段は気づかないまま過ごしているものですが、それを失った時に初めてそのありがたさがわかるものです。私も予想しなかった事の展開に悩んでいたある日、たまたま読んだ仲間の校長が書いた通信に掲載された覚えのあるこの詩の存在を通して、改めてこう考えました。

「あたりまえ」に感謝し、そのありがたさをいつも感じながら、精いっぱい生きなければならない。

そう思った日からいつもこのことを胸に刻み生活しようと決め、朝、校門の信号の所に立つことにしました。生徒の皆さんと「おはようございます」の挨拶を交わし、今日を迎えられたことをともに確かめ合い、喜び合いたいと思ったからです。実は、その時間帯は、職員の打合せの時間と重なっています。どうしても校長として話さなければならないことがある時以外は教頭先生にお願いし外に出させてもらっています。

私たちは、ものが豊かになり、何不自由なく暮らせる世の中があたりまえになっています。健康で身体を自由に動かすことができるのをあたりまえに感じています。でも、それをただの「あたりまえ」で終わらせてしまっているのでしょうか？明日から夏休みを迎える皆さんにも、ぜひ考えてみてほしいことです。

「ありがとう」も普段の「あいさつ」も、人として「あたりまえ」の言葉です。実はその言葉に秘められたパワーはすごい力を発揮することがあります。清々しい気持ちにさせてくれたり、自然と笑顔をこぼれさせたり、などなどその人本人が幸せな気持ちになれるような力です。「あたりまえ」のことをみんながしっかりとやりきれれば、それがすごい力となり、世の中をどんどん明るくしていくのではないのでしょうか。

大麻東中の生徒の皆さんは、総じて挨拶も元気がよく、しっかりと「ありがとう」が言える集団です。「あたりまえ」のことが「あたりまえ」にできるというのは、とてもすてきなことです。でも、**まだできると思います**。朝の玄関や教室にもっと明るい「おはよう」の声が響き渡る、ゴミが落ちていたら拾う、困っている人がいたら助けてあげる…。

そんな「あたりまえ」のことがさりげなくきちんとできる！こんな状況下だからこそ、それに負けない日常を「あたりまえ」から創ることができる、そんな学校になったらすごいなあ…、そんなことを強く願う、特別な思いで迎える、今年限りにしたい特別な夏休みの前の1日です。



中体連代替大会での活躍

女子バスケットボール部・・・ジュニアウィンターカップ2020江別大会Aブロック1位 管内出場

男子バスケットボール部・・・ジュニアウィンターカップ2020江別大会Bブロック2位

女子バドミントン部・・・シングルス1位 ○○○○ ダブルス1位 ○○○○・○○○○

男子バドミントン部・・・シングルス1位 ○○○○ 3位 ○○○○ (敬称略)

おめでとうございます！



楽しく安全に過ごす夏休みに！

12日間の夏休みに入ります。夏型事故防止、感染症防止を心がけ、8月20日（木）にはまた元気な顔を見せてください。

★インターネット上のトラブルに注意 ～ SNSを利用した犯罪に巻き込まれないよう、また、不用意な書込でトラブルを起こさないよう、使い方に気をつけましょう。オンラインゲームは、お子さんの利用状況をご家庭で把握しておくことも必要です。

★水難事故に注意 ～ 海岸や河川付近等の野外レジャーは保護者同伴です。海水浴場が開設されていない場所や遊泳禁止場所は大変危険なので、絶対遊泳してはいけません。天候の急変にも注意を。

★交通事故に注意 ～ 道内で児童生徒の自転車乗車中の事故が複数発生しています。被害者にも加害者にもならないために、ルールを守った上でさらに周囲の状況に注意しましょう。

★困っていること、悩んでいることがあるときは、学校以外にも相談できる場所があります

子ども相談支援センター 電話相談 0120-3882-56(24時間無料。)

メールでの相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp